アリラン峠の向こうには
在日コリアン音楽のこれから

2024年8月25日
14:00 - 16:30（開場13:30）

国立民族学博物館
みんぱくインタリジェントホール（講堂）

定員：400名
参加費：一般580円※イベント参加費は不要
申込：事前申込制（先着順）
イベント申込み等の詳細については裏面とホームページをご確認ください。
オンライン（ライブ配信）はありません。

主催：国立民族学博物館
アリラン峠の向こうには

在日コリアン音楽のこれから

在日コリアンの苦難の象徴であるアリラン峠の向こうには、どのような「希望」がみえるのでしょうか。2014年の研究公演で共演した3組の音楽家たちが再びみみくぼにつきます。日本、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国の3国で彼が紡ぎだしてきた音楽をとおして、在日コリアン音楽のこれからをみつめます。

出演
李政美、安聖民、河栄守、金栄実、権慶秀

解説
高正子（大阪コリアタウン歴史資料館 館長）

会社
福岡正（国立民族学博物館 教授）

プログラム

第1部 李政美「京成線」「眠れる波まで打て！」ほか

第2部 安聖民「古典パンソリ」「水宮歌」

第3部 河栄守、金栄実、権慶秀「パダムナレ（海の歌）」「トラジ

第4部 出演者全員「リムシガン（臨済江）」ほか

（曲目は変更となることがあります）

李政美 イ・ジョンミ

東京戎養生まれの在日二世、幼少の頃からアポル（父）、
が教える韓国の歌謡曲を聴かされており、朝鮮学校の民族楽器部で
鼓琴（ヤンサン）、小鼓（ヨンガム）に出会い夢中の年

国立音楽大学声楽科に進み、イイチオオラを教員。自身の
音楽のアイデンティティをもって試行錯誤しながらライブ
活動を経る。

伴奏：池田慎一（ピアノ）、竹本雅之（ピアノ）

安聖民 アン・ソンミン

バンクの前、大韓民国生まれの在日二世、1995年電子工学を

プロトタイプ（予約制）

時間
2024年7月22日（木）10:00 〜 8月21日（水）16:00

料金
一般：260円 / 学生：130円 / 学生カード（高校生・大学院生）

事前申込
2024年7月22日（木）10:00 〜 8月21日（水）16:00

事前申込方法
【企業団体】企画課メールアドレスに
Tel: 06-6878-8210 10:00〜16:00（土日祝および8/7,8/14 を除く）

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

国立民族学博物館には、東南アジア、中東、北米、オセアニアなど世界各国の民族文化に関する展示と、日本が持つ多様性と文化の進化を反映する展示が展示されています。館内には民具や書籍、写真、伝統芸術品などを展示しており、館内は広々としており、訪れる人々に広い空間と静寂を提供しています。館内にはエキシビジョンや特別展覧会が開催され、新しい展示や活動が行われています。国立民族学博物館は、多様性を尊重し、文化を尊重して観客に伝えることを目的としています。